

つながり

tsunagari

38

2024.9
Autumn

特集
笑顔で85歳を迎えるために
健康診断から始めよう



PET-CT®の日常点検をする診療放射線技師
※腫瘍を見つけることを得意とする医療機器のこと

地域の医療機関のご紹介

当院は、皆さんにとって身近な医療機関と役割分担を図り、地域全体で切れ目のない医療を提供することを目指しています。こちらでは、当院の登録医療機関(かかりつけ医)をご紹介します。

古川星陵病院

〒989-6155
宮城県大崎市古川南町3丁目1-3-5
TEL 0229-23-8181
<http://kaokai.jp/seiryo-hp/>



診療内容

脳神経外科、内科、呼吸器内科、循環器内科、放射線科

受付時間(外来)

月～土 午前 9:00～11:30
午後 2:00～4:30
※脳神経外科に限り、土曜午後は休診です。

休診日

日、祝祭日、年末年始



地域の皆さんへ

平成7年に開業し、脳神経外科・内科を中心に治療を行っております。大崎市民病院をはじめとする地域医療機関との連携を図りながら、救急医療全般に努めてまいりました。

また導入しておりますガンマナイフ®は、県内外からのご紹介を受け、皆さんが安心できる治療を実施しております。実績も1万例を超え着実に治療効果をあげております。患者様の安心な生活をサポートできるよう、より一層努力してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

※放射線によって脳腫瘍などを取り除く治療法

星陵あすか病院

〒989-6135
宮城県大崎市古川稲葉2丁目3-15
TEL 0229-25-8000

診療内容

内科、人工透析内科、リハビリテーション科

受付時間(外来)

月～土 午前 9:00～12:00
午後 2:00～5:00

休診日

日、祝祭日、年末年始



地域の皆さんへ

平成29年5月に開業し、おかげさまで8年目を迎えることができました。これもひとえに皆様のご支援があつたことと感謝しております。大崎市民病院との連携を密にさせていただきながら、急性期治療を終えられた後も医療の必要性が高い患者様の受け入れ体制を強化し、地域の後方支援病院としての役割を担っております。また、長期療養での透析やリハビリテーションが必要な患者様も積極的にお受けしております。

地域に根ざす医療機関として、皆様に信頼される医療を提供し、地域支援・在宅支援に向けて、スタッフ一丸となって努力してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



笑顔で85歳を迎えるために 健康診断から始めよう



2040年には高齢者人口が3割を超え、担い手世代の激減により、医療や介護の分野でも人材不足が深刻化し、必要なサービスが提供できなくなるのが危惧されています。私たちが笑顔で85歳を迎えるために必要なのは、日頃から自分の身体の状態を知り、心身ともに良好な状態を維持すること。健康診断はそのための有用な手段です。今回は、開所から10年目を迎えた健康管理センターをご紹介します。

重篤なリスクを下げるために

国の保健医療政策では健康寿命の延伸が目標とされていますが、健康は、政策上の課題としてだけでなく、個人の幸福度に影響を与える重要な要因の一つとして捉える必要があります。

体調不良や病気に罹患するなど健康が損なわれた状態では、日々の生活で幸せを実感することが難しくなってきました。年齢や世代に関わらず健康を維持するためには、健康に関する知識の習得や生活習慣の見直しに加えて、

健康診断などで実際に心身の状態や将来の病気のリスクを測定し、早めに個別の対策を立てることが有用です。

健康診断で高血圧・脂質異常症・糖尿病を発見し、早期に治療することにより、将来の心筋梗塞や脳血管疾患などの重篤な病気のリスクを大幅に下げることができます。

県北唯一の健診総合機関

平成26年、当センターは、大崎市民病院本院の穂波地区への移転に伴い、県北で唯一の健康診断総合

「要治療」は病気のサイン

健診結果の「4要治療」または「5要精密検査」は、大きな病気のサインです。速やかに二次健診を受診しましょう。当センターでは、これらの判定がされた方に、「ご希望に応じて本院や各分院、連携病院などへ紹介する取り組みを行っています。

乳房・脳などの個別の項目に比べて、血圧・脂質・糖代謝などの項目で精密検査に該当した方の中には「忙しいから」、「症状がないから」と受診せず、数年後に大きな疾患につながることも少なくありません。必要に応じてかかりつけ医または当センターに相談し、病気の重症化を予防しましょう。



くどう みちや 工藤 充哉 健康管理センター所長
みなみ ゆうこ 南 優子 健康管理センター副所長

主な健診メニュー

【人間ドック】

がんや生活習慣病の早期発見・健康維持などを目的とした総合的なコースです。

【脳ドック(MRI・MRA)】

脳の断面や血管を撮影することで脳動脈瘤の有無や脳卒中中のリスクを調べる検査です。当センターは、運転従事者脳MRI健診機構の実施医療機関にも登録されています。

【オプション検査】

- 腫瘍マーカー(男性用・女性用)
- ABC検診(胃がんリスク検査)
- 骨密度測定検査
- 体組成測定
- 甲状腺コース
- 動脈硬化コース
- 肺コース
- ほか

【女性のためのオプション検査】

- 乳がん検診(エコー・マンモグラフィ)
- 子宮がん検診

企業向けの健診等、詳細はウェブサイトをご覧ください。

大崎市民病院健康管理センター

〒989-6174 宮城県大崎市古川千手寺町二丁目3番15号

予約専用 TEL 0229-23-3471

受付時間 平日の午前8時30分から午後4時まで

E-mail kenshin-yoyaku@h-osaki.jp



腹囲2cm、体重2kg減を目指そう!

40歳以上のBMI25以上、腹囲が男性85cm、女性90cm以上の方で、さらに血圧、脂質、血糖値の値が基準値以上の方に対して、特定保健指導を行っています。

生活習慣改善方法について一緒に考え、3か月で「腹囲2cm、体重2kg減」を目標に取り組んでいます。10年後の健康のためにできることから始めませんか?



「私たち保健師が指導します!」



保健指導の様子

健康診断を受けてみよう!

実際の健診のようすをご紹介します。

1 事前申込み

事前に電話やメールで申し込みます。完全予約制です。



2 受付・着替え



受付で当日の提出物や検査内容を確認します。更衣室で検査着に着替えます。

3 計測・問診

身長、体重、視力、血圧、腹囲の測定をします。また、看護師が問診をします。

血圧測定



問診



4 採血

チクッとしますよ〜



血液検査のために採血をします。腫瘍マーカーなど採血でわかるオプション検査は、当日の申込みが可能です。

5 検査

聴力検査



1,000Hz(低音域)と4,000Hz(高音域)の音が小さくても聞こえるかどうかを検査します。

心電図検査



心臓の筋肉から発生する電気を捉え、不整脈や心筋梗塞など、心臓に異常が無いかを検査します。

超音波検査



超音波を当て、肝臓、胆のうなどの腹部臓器に異常が無いかを検査します。オプションで乳腺・頸動脈・甲状腺超音波検査を選ぶことができます。

胃透視検査



バリウムと炭酸ガスを用いて、食道・胃・十二指腸を検査します。

胸部X線検査



胸部の写真を撮影し、異常な影が無いかを検査します。

乳房マンモグラフィ検査



乳がん検診

乳房をうすく伸ばし、撮影します。視触診では見つかりにくい小さなしこりや、微小な石灰化を見つけることができます。女性スタッフが対応します。

MRI検査



脳ドック

脳に異常が無いかを検査します。症状を伴わない小さな脳梗塞や脳動脈瘤などを発見できます。

6 診察



すぐに出る検査結果から、医師が診察をします。

7 会計

8 結果通知

健診結果に「要治療」「要精密検査」の判定が出たら、速やかに医療機関を受診しましょう!

約3週間後…

早期発見・早期治療は負担する医療費の軽減にも繋がります。

当センターでも血圧・肝機能・脂質などの二次健診を実施しています。お気軽にご相談ください!



がん相談 Q & A

がん相談支援センターでは、患者さんやご家族から、さまざまな相談が寄せられます。ここでは、よくある相談の一部を紹介します。



Q 退院することになったけれど、不安を感じます…

A 退院が決まると、入院中身近にいた担当医や看護師がいない家庭での生活に、不安を感じますよね。そんな時は、主治医や看護師など身近なスタッフへお声がけいただくか、がん相談支援センターへご相談ください。

病院内には、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、退院調整看護師や医療ソーシャルワーカーなど、さまざまな職種があり、治療面だけでなく、生活面についても、患者さんにご家族の心配ごとなどをお聞きしながら、必要なサポートについて検討します。

また地域には、地域包括支援センター、ケアマネージャー、在宅診療医や訪問看護ステーションなど、さまざまな専門職がいるため、必要に応じて関係機関と連携を図り、退院後も必要なサポートが継続して受けられるようお手伝いをします。退院後に患者さんやご家族を支えるチームとの顔合わせを行ってから退院する場合があります。また、介護保険制度をはじめ、退院後利用できる制度を紹介することもあります。

大崎市民病院の先生をリレー形式でご紹介します！

Team "tsunagari" チーム つながり

Vol. 05

本院は43の診療科があり、現在常勤医師は151人所属しています。第5回は、副院長で循環器内科の岩淵薫先生をご紹介します。普段は、皆さんの健康を守るために尽力している先生たちですが、実は意外な一面も…？

いわぶち 岩淵 薫 副院長
 診療科 循環器内科
 主な資格・認定 CVIT 専門医 TAVR 実施医認定
 趣味 乗馬



いろんな角度から、市民の方々の心臓を見守っています。大崎に来て、長くなりましたが、若い先生方を育て、次代を担ってもらえるように、切磋琢磨しています。空き時間で、馬をかわいがって、癒やされています。

次回は、消化器内科の佐藤 雄一郎先生です。

つぶらな瞳がキュートです♡



おおさき メディカルスポット

Vol.6 放射線部

当院は、医師以外の職種のスタッフも、皆さんの健康のために昼夜を問わず医療を提供しています。今回は放射線部から、病気を見つける画像診断部門と病気を治療する放射線治療部門についてお話しいただきました。

体内を見える化

「画像撮影の専門家」

私たち診療放射線技師は医師・歯科医師の指示の下、医用放射線を活用し医療に貢献することを業務としています。本院には45人の技師が在籍しており、業務内容は画像診断部門と放射線治療部門の2つに分かれます。

画像診断部門では、レントゲン撮影をはじめ、短時間で体内の画像を撮影できるCT検査、強力な磁場と電磁波によって画像を得るMRI検査、投与した放射性同位元素（R）によって体内の薬剤の分布を画像化するR・PET検査、TAVI（経カテーテル大動脈弁留置術）や脳動脈瘤のコイルリング等の精密な治療に携わる血管造影検査があります。また、24時間365日、当番制で救急業務にも当たっています。

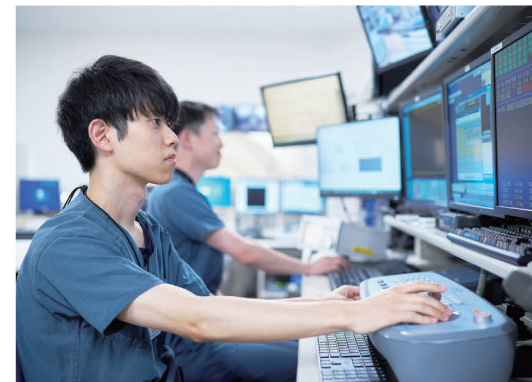
県北の高精度ながん治療に貢献

放射線治療部門では、リニアックという装置で高いエネルギーのX線と電子線の2種類の放射線を使い分け、主にがん治療を行っています。治療の目的には、がんの治癒を目指すための根治照射、症状や疼痛の改善を図る緩和照射、再発や転移を予防する予防照射があり、目的や部位によって処方される放射線量もそれぞれ異なります。

また、任意に線量の強弱をつけて行う強度変調放射線治療（IMRT）や、小さな標的に対して多方向から正確に照射する体幹部定位放射線治療（SBRT）といった高精度な治療を提供できるように、専門的な資格を持った技師も活躍しています。どちらの部門でも他職種と連携、協力しながら日々患者さんのために取り組んでいます。



CT撮影を行う診療放射線技師



放射線治療機器の操作を行う診療放射線技師

紹介動画もぜひご覧ください

